

3F	9月	10月	11月
総合展示室1 土佐藩の歴史	8月1日(金)～ 第3期	～10月13日(月・祝)	10月24日(金)～ 第4期
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	7月11日(金)～ 第2期	～9月23日(火・祝)	10月3日(金)～ 第3期
特別展示室 企画展	9月13日(土)～	野中兼山 一時代を見据え、変革に挑む	～12月7日(日)

城博講座

9月
13日(土)
古文書講座
「古文書解説 実践篇」
第3回 解説に挑戦②
講師/藤田雅子(当館歴史担当学芸員)

10月
11日(土)
歴史講座
「土佐の社会と災害」
第2回 過去の地震・津波と土佐
講師/水松啓太(当館歴史担当学芸員)

10月
18日(土)
美術工芸講座
「見る技術」
～はじめての日本美術②～
第2回 刀 用語の読み解き方
講師/尾本師子(当館美術工芸担当学芸員)

10月
25日(土)
日本の文化講座
「人生儀礼(通過儀礼)」
第2回 高知県における人生儀礼
講師/中村淳子氏
(高知県立歴史民俗資料館 学芸専門員)

11月
8日(土)
古文書講座
「古文書解説 実践篇」
第4回 解説に挑戦③
講師/藤田雅子(当館歴史担当学芸員)

11月
15日(土)
保存修復講座
「文化財と虫のおはなし」
第2回 虫とカビから文化財を守る
～博物館の最前線～
講師/田井東浩平(当館保存担当学芸員)

会場/当館1階ホール 時間/10:00～11:30 定員/80名 参加費/無料 申込み/不要(当日先着順)

季節の行事

お月見の会 ～城博で楽しむ雅楽の調べ～

開催日:11月9日(日) 会場:当館
時間:【演奏会】17時30分～19時
【呈茶】19時～20時30分
演奏:繁藤雅陽会
和菓子:福留菊水堂
参加費:500円(呈茶もご希望の場合は800円)
定員:30名(要事前申込、申込多数の場合は抽選)

当日は秋や月にちなんだ美術工芸品がならぶ展示室もお楽しみいただけます。

地域文化講座(第2回)

近世城下町をひもとく —高知城下町を事例に—

開催日:9月6日(土) 会場:当館
時間:13時30分～15時
講師:片岡剛(当館学芸員)
参加費:無料
定員:50名
(要事前申込/先着順)

申込方法 当館まで電話・FAXのいずれかでお申し込みください。

お得な年間観覧券がおすすめです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヶ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

年間観覧券 / 2,000円
※有効期限は購入日から1年間

各種会員制度もご利用ください

友の会 年間観覧券と様々な特典があった会員制度です。
年間 3,500円

情報会員 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送ります。
年間 500円

友の会、情報会員の詳細はこちら

開館時間 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は閉館30分前まで

休館日 年末(12月26日～31日) ※展示室の開室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料 ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金
◆企画展開催期間中...800円(640円)
◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです(当館企画展開催期間中)1,040円 (その他の期間)800円
◆高校生以下は無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料 ※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

交通アクセス ◆お車 高知自動車道高知ICから約15分、一般来館者用の駐車場はございません。高知公園(高知城)駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり
◆JR JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)はりまや橋下車にて乗り換え、高知城前下車、徒歩2分
◆飛行機 高知龍馬空港から空港連絡バスにてはりまや橋下車、徒歩約20分

高知県立 高知城歴史博物館
(指定管理者: (公財)土佐山内記念財団)

〒780-0842 高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619
高知城博 検索

発行日/令和7年(2025)8月4日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館 印刷/共和印刷株式会社

城博ニュース

●企画展
「野中兼山 一時代を見据え、変革に挑む」
●この秋「南海太郎朝尊」の特別展示開催!

●総合展示室 ピックアップ
●城博コレクションの名品・逸品
山内家文書 江戸幕府発給文書の内 江戸幕府寺社奉行・町奉行連署状(津呂港築港関係文書)
●活動レポート 企画展「高知の地震災害史～紡がれた記憶と記録～」 特別報告会「近世土佐の知の宝庫—山内文庫を読み解く—」
●展示室開室スケジュール
●城博講座 開催情報 ●季節の行事・子ども向け講座・地域文化講座

- ### 関連行事
- 企画展ゆかりの地講座「室戸地域と野中兼山」
9月28日(日) 10時～11時
室戸市保健福祉センターやすらぎ(室戸市領家87)
定員40名【申し込み不要、先着順】
 - 子ども向け紙芝居「山田堰と野中兼山」&兼山ミニ講座
10月12日(日) 14時～15時 当館1階ホール
定員小学生20名
【要申し込み、先着順】 ◆紙芝居披露◆ 山田堰井筋土地改良区
 - 小説朗読会 大原富枝「婉という女」・「正妻」
10月19日(日) 14時～15時40分 当館1階ホール
定員60名
【要申し込み、先着順】 ◆朗読◆ 朗読サークル「潮騒」
 - 城下町散策会「兼山時代の城下町を歩く」
11月30日(日) 14時～16時 高知城追手門前集合
定員20名【要申し込み、先着順】
 - 学校の先生向け 講座と展示解説
9月20日(土) 13時30分～16時 当館1階ホール
【要申し込み】
テーマ:「野中兼山と地域社会 ～学校での紹介を意識して～」
*高知県教育センターとの共催
 - 展示解説
9月21日・10月26日・11月16日
いずれも日曜日 11時～12時 3階展示室
- 申し込み方法など ◆②③④は事前申し込み制(先着順)。申し込みは当館まで、電話・はがき・FAXにて。
◆⑤の問い合わせは、高知県教育センター特別講座(郷土資料の活用)担当(TEL088-866-5155)へ。
◆⑥は申し込み不要、当日直接会場へお越しください。
*いずれの行事も、参加費は無料(ただし⑥の展示解説は、観覧料が必要となります)。

野中兼山

待望の兼山展、ついに開催!
伝説的人物の実像に迫る!

令和7年(2025年)
9.13(土)
12.7(日)
企画展
会場/3階 特別展示室
時代を見据え、変革に挑む

令和7年度第75回高知県芸術祭共催行事

この秋、高知県佐川出身の刀工「南海太郎朝尊」の特別展示開催!

高知県内の展示施設連携展示
「令和土佐藩」 10月3日(金)～12月7日(日)

当館を含む高知県内の展示施設7館で、南海太郎朝尊の作品や関連資料を展示する連携展示を開催
当館では朝尊大太刀はじめ、吉行・肥前忠広などを展示!

佐川町立青山文庫 特別展「南海太郎朝尊」
10月11日(土)～12月7日(日)

青山文庫と当館の共催により南海太郎朝尊の作品と生涯を紹介する特別展を開催

主催:佐川町立青山文庫
共催:高知県立高知城歴史博物館

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主の御道具など6万7千点の土佐藩山内家資料を核とした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

山内家文書 江戸幕府発給文書の内 江戸幕府寺社奉行・町奉行連署状（津呂港築港関係文書）

江戸時代
（万治2年：1659）
2月10日

この古文書は、海洋県、高知県にとっては、記念碑的な文書の一つで、室戸市津呂港の築港許可に関するものです。

江戸幕府の寺社奉行松平勝隆と江戸町奉行神尾元勝の二人が差出者となり、「野中伯耆様宛てに出した書状で、宛名の「野中伯耆」とは、土佐藩山内家の家老で、二代藩主忠義三代藩主忠豊の時代に活躍した有名な野中兼山のことです。



書状からは、①藩主忠豊が幕府に相談していた津呂に船入を掘ること（築港すること）について、老中の許可が下りたこと、②今回は、幕府からの許可状として、老中の署名する文書老中奉書は出さないので、その方ら（松平・神尾両人）から許可の旨を伝えて欲しいと指示があったことが分かります。このことは文書の様式にも現れており、冒頭に「二筆申入候」、末尾に「恐惶謹言」と、書状形式（私信形式）の文が見られ、年

号も無く、また末尾近くには「対馬守殿（藩主忠豊）へ、右之通可被仰上候」とあるように、兼山から藩主忠豊へ内容を披露して欲しい旨が記されています。形式的には、幕府役人から兼山へ出された書状形式の文書でありますが、内容的には、土佐藩にとっても重要な、幕府からの公的な築港許可状といえるものでした。

さて、通常、幕府と土佐藩との文書のやり取りは、藩主以外の者が窓口となる場合には、江戸留守居役など、江戸藩邸の人物が窓口となる場合が多く見られますが、今回の場合では、兼山が窓口となっていました。実は、ちょうどこの頃、兼山は伊予国宇和島藩との沖ノ島・篠山をめぐる国境争論に取り組んでおり、長期にわたり、江戸に滞在していました。そしてまた、松平勝隆・神尾元勝の両人は、この当時、土佐藩と幕府の間をたびたび取り持ちしていた大名と旗本で、土佐藩にとっては、幕府と交渉をする際の相談窓口となる二人でした。兼山も国境争論に関することやその他様々な案件を両人に相談しており、本文書が兼山宛てに出された背景には、そのような江戸での兼山と幕府役人との関係・交流があったことが想像されます。

秋の企画展「野中兼山」では、本文書をはじめ、兼山ゆかりの様々な資料をご紹介します。この機会に、ぜひご覧ください。

副館長兼教育普及課長 横山和弘

活動レポート

報告会

特別報告会 「近世土佐の知の宝庫—山内文庫を読み解く—」

日本文学の総合研究機関である国文学研究資料館が、約半世紀にわたって進めてきた山内文庫の調査・撮影とデジタル画像公開の完了を記念し、6月22日（日）に当館において特別報告会を開催しました。

山内文庫は、土佐藩主・山内家の蔵書と学者の家・谷家の蔵書を中心とした約2万冊の典籍で、近世土佐の学問の動向や人々の教養のありようを伝える貴重な資料群です。山内文庫は、昭和21年に旧土佐藩山内家から高知県立図書館へ寄贈・寄託され、その後土佐山内家宝物資料館（当館前身）を経て、現在は当館で保存・公開を行っています。

報告会では、高知県立図書館の時代からはじまった調査の歴史を振り返りつつ、調査に携わった5名の研究者の方々に、和歌・物語・軍記といった各専門分野の視点から調査成果と、山内文庫の魅力を紹介していただきました。

いずれの報告からも、文庫を丁寧に読み解くことで当時の人々のたゆまぬ学問への探求心、そして書物を通じた人と人との豊かな交友関係を肌で感じることができ、参加者の皆さんは大変興味深く話に耳を傾けておられました。

今回の報告会を一つの区切りとし、今後は国書データベース（国文研HP）の画像公開などを通じて、山内文庫が全国の様々な分野の研究者に利用されることで、さらなる研究の深化が期待されます。



特別報告会の様子

資料学芸課 資料保存修理室長 田井東浩平

企画展「高知の地震災害史 ～紡がれた記憶と記録～」

企画展「高知の地震災害史—紡がれた記憶と記録—」（令和7年3月20日—5月25日）では、準備段階から様々な活動に取り組みました。ここでは、主な3つの活動をご紹介します。

まずは、昭和21年（1946）に起きた昭和南海地震の証言収集です。この地震は終戦翌年に起きたため、公文書や個人の記録はあまり遺されていません。その中で、各地の被災状況を復元するには体験者の証言が重要になります。県内各地の被災体験を収集し、展示会場では具体的な被災記録のない地域の体験談も含めて、約60名の証言を紹介しました。

次に、県内4校との学校連携です。本展では、県立安芸高等学校・県立盲学校・高知市立三里中学校・土佐女子中学高等学校の児童・生徒とともに、約1年間にわたり歴史から学ぶ防災学習に取り組みました。各校で校種・所在地の違いを活かした学習を行い、その成果をポスターなどにまとめ、企画展会期中に当館で展示を行いました。

最後は、黒潮町田野浦地区での「大潮まつり」開催です。この行事は幕末の安政南海地震の口承として昭和時代初期まで続けられてきましたが、体験者の不在などから100年近く途絶えていました。令和6年が安政の地震から170年の節目であり、地元の方々と相談の上、昭和南海地震の口承を主とする形式に変更し、かつて行事が行われていた白皇神社の境内で開催しました。田野浦地区では継続的な開催が見込まれています。

今後も、博物館活動の多面性を活かした展示に取り組みたいと考えています。

資料学芸課 学芸員 水松啓太

待望の兼山展、ついに開催！伝説的人物の実像に迫る！

野中兼山

時代を見据え、変革に挑む

令和7年（2025年）

9.13
↓
12.7

必見！
地元以外では
初展示

八田堰修理用具
（高知市春野郷土資料館蔵）



沖ノ島鳥形模型
（高知県立歴史民俗資料館蔵）



あの有名な模型が
ついに登場！

みなさんは、野中兼山という名前を聞いたことがありますか？野中兼山は、今から360年ほど前、江戸時代に活躍した人物です。当時、現在の高知県は、土佐藩と呼ばれていて、山内家が藩主として治めていました。野中兼山は、この山内家の家老で、土佐藩の奉行職という役職につき、藩の政治を主導した人物です。今回の企画展では、おおよそ時間の経過に沿って、野中兼山の生涯と実績をご紹介します。



弘岡井筋・新川絵図（高知市立市民図書館（平尾文庫）蔵）



野中兼山定書（高知県立歴史民俗資料館蔵）



物部川絵図（安芸市立歴史民俗資料館蔵）

権力絶頂期、
迫力満点の
兼山のサイン



野中宛遺品
（高知市立市民図書館蔵）

小説で有名な宛の遺品



野中兼山弾劾状（当館蔵）

兼山失脚の狼煙となった弾劾状



法螺貝 伝野中兼山所用
（香美市土佐山田町中野地区蔵）

この他、手結港・津呂港、野市開拓・後川水系用水路整備、尾戸焼・捕鯨・養蜂などに関する資料も展示

総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

総合展示室 第3期 8月1日（金）～10月13日（月・祝）

ピックアップ 鯉魚

幕末期に作成され、佐川の豪商の家に伝来した皿。どこに注目したらいいの？どんな時に使うの？といった疑問を「やまびよん」（当館キャラクター）が音声ガイドで分かりやすく解説します。夏休みは他の展示資料も「やまびよん」の音声ガイドを用意していますので、お楽しみください。



1 土佐藩の歴史

総合展示室 第2期 7月11日（金）～9月23日（火・祝）

ピックアップ 雅印をあじわう

書や絵画の作品に押された印を読み解きながら、印の役割、鑑賞ポイントを学びましょう。

2 大名道具と土佐の文化

